

ぼくが一学期にがんばったことは、三つあります。一つ目は二位と三位をとったことがあります。先生をうらやましながら練習したとき、出せないと言われたので、胸に練習をしなさいといわれ、五年生の子と試合をして、全勝で一位になれる気がたてきまりました。ようこそは横綱になろう家族をよくこばせたいです。

二つ目は漢字の練習です。ぼくは一年生のころかんでました。でも今はもうよく書いています。これからは字を丁寧に書きたいです。

三つ目は走ることです。ぼくは、一年生からこのあまり足がはやくなりまして、いつもお姉ちゃんやリレーをしていたのも負けず、自転車をこいだりして、だてから走り運動したり、走りが速くなるように努力しました。それによって、速いことができたんです。これからももっと速くなりたいです。

平和集会

本日8月9日は長崎原爆の日です。平和集会の中で、1学期末から命の大切さ、原子爆弾のこと、そして戦争や世界の情勢など、学年に応じて学習してきました。集会の中では、「“平和”ってなんだろう」と子どもたちに問いかけ、以下の内容を話しました。

(中略)今日はみなさんに一つ質問します。「平和」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか。まずは学級で1分間、友達と話し合ってみてください。…いろいろな意見が出たと思います。「戦争をしないこと」「命を大切にすること」「仲良くすること」「けんかをしないこと」などがあったのではないのでしょうか。どれも正しいと思います。

でも、校長先生はもう一つ、大切なことがあると思っています。平和は、遠い国だけの話ではありません。平和は、みなさんの教室や学校生活の中にもあるということです。(中略)

今日はみなさんの平和宣言をもとに考えてみましょう。

1年生…「はなしあって、なかなかおり」 2年生…「あいさつと笑顔を広げる」 3年生…「命を大切にし、やさしく思いやる」 4年生…「言葉づかいに気をつけ、友達のよいところを見つける」 5年生…「暴力をふるわず、友達との関係を大切にすること」 6年生…「けんかや争いをせず、楽しく過ごす」

どの学年も、「学校の中で平和をつくる」という願いが込められています。では、そのために何をすればいいのでしょうか。実は、先生たちも1学期の終わりに、「もっとよい学校にするにはどうしたらいいか」を話し合いました。その中で出てきたのは、言葉づかいのことでした。残念ながら、友達をととても悲しい気持ちにする言葉が、まだ聞こえてくることがあります。

「死ね。」「殺す。」「消えろ。」「だまれ。」「おまえ…そして、人を見下したり、傷つけたりする言い方。」

こうした言葉は、田平東小学校からなくしていきたい言葉です。その反対に、もっと増やしたい言葉があります。

「ありがとう。」「ごめんなさい。」「大丈夫?」「一緒に遊ぼう。」「…」

こんな言葉があふれる学校は、きっと平和な学校になります。

校長先生がこれまで何度もみなさんに話してきた言葉があります。

「自分がされたり、言われたりして嫌なことは、人にしない、言わない。」そして、「自分がされてうれしかったことを、周りの人に広げていく。」

この二つを、今日もう一度みんなで心に刻みたいと思います。

平和は、特別なことではありません。毎日のあいさつから始まります。友達へのやさしい言葉から始まります。思いやりのある行動から始まります。一人一人がそんな小さな平和を積み重ねていけば、田平東小学校はもっと温かい学校になります。そして、その温かさは、やがて世界の平和へとつながっていくと校長先生は信じています。

今日、原爆で亡くなられた方々を思いながら、私たちは毎日の生活の中で平和をつくっていくことを誓いましょう。

「ありがとう」を増やすこと。「ごめんなさい」が言えること。「大丈夫?」と声をかけること。

最後に、今日、この言葉を一つだけ覚えて帰ってください。

「平和は、毎日の言葉からはじまる。」

今日の平和集会が、みなさん一人一人にとって、そのことを考える一日になることを願っています。

入選おめでとう！

子どもたちが1学期に取り組んだ「水道週間」の作品展で、本校から図画の部で1名入選し、7月28日(火)に表彰式がありました。水道、水の大切さを絵や標語にあらわしたすてきな作品も会場に展示されていて、緊張の中にも堂々とした態度で表彰を受けていました。おめでとう！

図画の部(佳作)…H.Aさん(6年)



田平東小HPはこちらから→

